

# 教育研修

No.150 (令和7年7月1日)

## おもな内容 ページ

随想	1
研究協力校紹介	2
研究室だより	3
受講方法と講座案内	4
教育講演会の紹介	5
受講後調査の結果	6
心に残る授業その91	7
人事短信(センター所員紹介)	8

## 旭川市立西御料地小学校 紹介

本校では、PTAが主催する「御料っ子まつり」を開催しています。保護者の皆さんが子供たちのために「くじ」「駄菓子屋」「ヨーヨー釣り」などの出店を準備してください。出店を回る子供たちは笑顔にあふれ、心の底から祭りを楽しんでいます。子供たちの豊かな心を育むために、これからも保護者と学校が協力し、教育活動を推進して行きます。



## 随想

# 「襷を繋ぐ」

上川教育研修センター  
所長 石前 聖香



2021年から雑誌に連載され、昨年単行本として発刊された『俺たちの箱根駅伝』(著者池井戸潤)は、寄せ集めの学生連合チームが、監督の掲げた規格外の目標に向けて己の限界に挑み、信頼する仲間とともに217.1kmを継走する青春小説です。

「なぜ、君らに考えることを求めるのか。考える力は、打開する力になるからだ。」

商社マンで伝説のOBでもある監督は語り、選手はその言葉の意味を理解しながら、刻々と変化する戦況を読んで勝負を仕掛けます。

粘り強く学びに向かう姿勢や思考力・判断力・表現力を培い、自他のよさや可能性を認識し、他者と協働しながらたくましく未来を切り拓くべく走り続ける選手たち。常に伴走者として選手に寄り添い、勇気付ける監督。

青春とプライドをかけた魂の襷リレーを通して、令和の日本型学校教育が目指す姿がリアルに描かれ、何度も読み返すお気に入りの一冊です。

我が家のお正月の定番は「箱根駅伝」です。疾走する学生の姿を映すテレビ中継を1日5時間も見続けるのですから、端から見ると何が面白いの？と呆れられるかもしれません。

今年は、池井戸作品に後押しされ、初めて現地観戦しました。

「東京箱根間往復大学駅伝競走」(関東学生陸上競技連盟主催)の歴史は古く、始まりは1920年、今年で101回目を数えます。1月2日・3日の2日間、各チーム10名で襷を繋ぎ、東京・大手町と箱根・芦ノ湖間を往復。

全国に多くの熱烈なファンをもち、近年は「駅女」と呼ばれる女性ファンも急増していると聞きます。前年大会10位までのシード校と予選会上位10校に学生連合チームを加え、全21チームが熱い戦いを繰り広げました。

走ることから縁遠い生活を送り、近ごろは3階までの階段も息が切れる情けなさ。旅行先でもすぐにスイーツ休憩に入る有り様ですが、箱根路では追っかけ女子に大変身。読売新聞本社前から横浜、茅ヶ崎、小田原を行き来し、小旗を振って選手の無事を祈ります。

復路のゴールテープをフレッシュグリーンのユニフォームが駆け抜けた瞬間、地響きのような歓声と感動に包まれました。まるで自分が襷を受け取ったかのように、心は満ちて、エネルギーチャージ完了。

近い将来、小説が日曜劇場で池井戸シリーズとしてドラマ化されたらいいなと密かに願っているところです。

## 美深町立仁宇布小中学校 紹介

本校は、『チャレンジ隊』という仁宇布・美深町についての調べ学習を行っています。子供たちは、『自然』『産業』『歴史』の分野から自分の興味のある分野を選び、課題を設定し、学習を進めます。

仁宇布の牧場や農場、松山湿原、トロッコ王国、スバル試験場等で体験活動を行い、インタビューや調査により課題解決を図り、8月の発表会に向けてまとめていきます。一人一人が違うテーマを追求しているので発表会では、お互いの発表を聞き合うのが楽しみです。



## センター日誌

- 4/1 新任所員着任
- 4/16 講座内容研究協議会
- 6/3 学校経営 I
- 6/4 タブレット PC 入門
- 6/10 表計算入門
- 6/12 特別支援教育①
- 6/13 学級経営と教育相談
- 6/17 センター研究発表会 I
- 6/25 校務でのタブレット PC 活用
- 6/26 読書活動
- 6/27 校務のための表計算(ｸﾗｯﾄﾞ 活用)
- 7/1 センターだより第150号発行
- 毎週火曜日 定例研究室会議
- 随時 研修講座講師打合せ会議

## 講座内容研究協議会

4月16日、上川教育研修センター研修講座に関する会議、「講座内容研究協議会」が研修センターにて開かれました。

開会式では、野崎幸宏教育長よりご挨拶をいただきました。また、研修センターの貞弘真悟副所長より、研修事業の報告と計画について、概要を説明いたしました。

研修センターでは、令和7年と8年の2年間を見通し、第18次研修講座として研修内容を計画しております。時代が大きく変わる中での教育において、さらに実りある研修、また、リアルタイムに学校の「今」に役立つ力となるよう講座内容の熟慮も重ねております。

多くの皆様の受講をお待ちしております。



# 令和7年度「研究協力校の紹介」

## 旭川市立東栄小学校

### 1 学校概要

本校は、旭川市の中心部から南東へ約5kmに位置し、豊岡地区および東光地区に広がる住宅地域を校区としています。昭和45年に開校し、今年で55年目を迎えました。令和2年には新校舎が完成し、明るく新しさに満ちた環境の中で、子どもたちは元気に学校生活を送っています。

### 2 教育目標

「さとく ゆたかに たくましく」

### 3 年度の重点

「自ら創る」を年度の重点とし、子どもたちが事物や事象に興味をもち、その中から課題を明確にし、主体的に解決する過程を通して、資質・能力の育成を目指しています。その具現化に向けて、大きく3つの取組を進めています。

#### ①『学びのプロセス』の確実な定着

「見通し・学ぶ・振り返る」学習過程を通し、生活に生きる知となるよう授業改善を進めています。

#### ②一人一台端末の有効活用

学びを支える文房具としてのタブレット端末の活用を進めています。

#### ③学びのプロセスに基づく家庭学習の定着

学校での学びを家庭での学習につなげ、学びのプロセスに沿った自主学習を進めています。



## 旭川市立神居東中学校

### 1 学校概要

本校は、昭和57年に神居中学校から分離して開校しました。周辺には伊の沢スキー場をはじめ、豊かな自然と閑静な住宅街があり、現在、在籍する200名の生徒は何事にも熱意をもって取り組んでいます。近年では陸上、駅伝、バスケットボール、管楽器演奏など様々な種目・分野で全道・全国大会進出を果たすなど、活力に溢れた学校です。

### 2 教育目標

『未来を築く人間性豊かな人』

### 3 年度の重点

『夢や目標をもって仲間と共に高め合う』

人間性豊かな生徒の育成』

～「挑戦」「協働」「感動」を合言葉に～



本校は今年度、北海道教育委員会「学校力向上に関する総合実践事業」の指定を受け、家庭や地域との連携・協働を基軸とした学校運営に取り組みます。そこで、教職員全員がAARサイクルを意識し、家庭や地域と一体となって生徒に挑戦・協働・感動を経験させることを通して、自己肯定感を高め、予測困難な社会をたくましく生き抜き主体的に自己実現を果たすための資質・能力を備えた生徒の育成を目指します。

## 上川教育研修センター 第20次研究2年次

研究室では、新部長と新しい2名の研究員を迎え、第20次研究の2年次をスタートさせました。1年次の成果と課題を受けて、改めて「子どもを主語にした授業」のあり方を整理し、「主体的・対話的で深い学び」を一層充実させる単元デザインを研究していきます。6月の研究員によるセンター研究発表会Ⅰからはじまり、9月と10月には、旭川市立東栄小学校と旭川市立神居東中学校の2校の協力校による授業実践、そして12月には研究員による2年間の研究のまとめとなるセンター研究発表会Ⅱを、北海道教育大学附属旭川中学校の研究発表と合同で行い、研究内容について検証を行う予定になっています。

また、従来の研究授業向けの指導案と併せて、「主体的・対話的で深い学び」を日々の授業で実践するために、いつも手元に置いて活用することを目的とした新しい指導案の形を提案してまいります。今年度も、皆様と共に、「主体的・対話的で深い学び」について一緒に学んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

## 研究主題

### 求められる資質・能力を育む学習指導の在り方

～子どもを主語にした主体的・対話的で深い学びの実現を目指して～

## 求める児童生徒像

「知識及び技能」を習得し、「思考力・判断力・表現力等」を高め、「学びに向かう力・人間性等」を涵養し、各教科の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら深い学びに向かっていく児童生徒。

## 研究の仮説

「主体的・対話的で深い学び」の視点で授業改善を図ることで、児童生徒の学習や教師による指導の改善等につなげ、組織的かつ計画的に教育活動の質が向上し、児童生徒に求められる資質・能力が育成されるであろう。

## 研究内容

### 子どもを主語にした主体的・対話的で深い学びの実現

#### 研究内容1 ～児童生徒の思考に沿った単元デザイン～

- (1) 児童生徒が主体的に学ぶための課題設定と見通し
  - ・児童生徒が学びに向かう意欲を掻き立てる課題の設定
  - ・学習過程のイメージ、目指すべき姿のイメージの共有
- (2) 児童生徒が資質・能力を身に付けるための自己選択の機会と学び合い
  - ・身に付ける資質・能力を明確にした自己選択の機会の計画的な設定
  - ・学びを個で終わらせない協働的な学びの場面の設定
- (3) 児童生徒が学びの価値を感じる振り返り
  - ・学習内容の定着と自己変容を自信に変え、学ぶことの意義に気付かせる振り返りの機会の計画的な設定

#### 研究内容2 ～児童生徒の深い学びを促す教師の働きかけ～

- (1) 教科の特質を生かした発問
  - ・各教科の特質を生かしながら、児童生徒の学びをより深める発問の吟味
- (2) 思考を束ねる可視化の手立て
  - ・1人1人の児童生徒の考えを収束させるとともに、交流場面での思考の深まりを促す可視化の手立ての工夫

#### ICTの効果的な活用

- ・多様で大量の情報の収集、整理・分析、まとめ、表現
- ・児童生徒の思考の過程や結果の可視化
- ・情報の双方向性による瞬時の情報共有 等

研究室では、週に1回程度、上川教育研修センターにて研究室会議を行い、上川管内の先生方にお伝えする研究内容を協議しております。



## 今年度より講座の申し込み方法が変わりました

今年度から、一般研修講座、ICT 実技研修講座、出前講座の申し込みを、2次元コードから行うことにしました。下記の2次元コードからお申し込みください。開催要項にも掲載されております。なお、お申し込みの際には、申込受領のメールが送信されますので、ご確認ください。

※お申し込み時のメールアドレス入力につきましては、学校の代表メールを入力してください。

一般研修講座



ICT 実技研修講座



出前講座



センターWeb ページもご活用ください

<http://kami-cen.hs.plala.or.jp/>

今年度の研修講座開催要項やR6年度研究紀要等がダウンロードでき、過去の研修講座の様子やセンターだよりを見ることもできます。



インスタ始めました。  
研修センターの更新のたびに情報を発信する予定です。



### 🍉 夏季休業中の研修講座 🍉

開催日	曜日	研修講座名	備考
7月24日	(木)	幼保小連携教育	
7月25日	(金)	道徳科指導①	2日目:9月3日(水)
7月25日	(金)	表計算入門②	ICT 実技研修
7月25日	(金)	校務のための表計算①	ICT 実技研修
7月28日	(月)	教育講演会	
7月29日	(火)	外国語(英語)指導①	2日目:9月29日(月)
7月30日	(水)	国語科指導①	2日目:9月9日(火)
7月30日	(水)	授業のためのプログラミング入門①	ICT 実技研修
7月31日	(木)	社会科指導①	2日目:9月26日(金)
7月31日	(木)	授業でのタブレットPC活用①	ICT 実技研修
7月31日	(木)	校務でのタブレットPC活用②	ICT 実技研修
8月1日	(金)	算数・数学科指導①	2日目:9月26日(金)
8月4日	(月)	学校事務実務	
8月5日	(火)	理科指導①	2日目:10月6日(月)
8月22日	(金)	令和の日本型学校教育	

会場はすべて上川教育研修センターです  
※二日目のある講座は授業実施校です

上川教育研修センター

# 教育講演会



講師

なか  
中

ざわ  
澤

よし  
美

あき  
明

氏

北海道教育大学教職大学院 特任教授  
独立行政法人教職員支援機構 (NITS) フェロー

## 演題

「令和の日本型学校教育を担う

新たな教師の学び」

日時

7 / 28 (月)

10:00 ~ 開会式 10:10 ~ 講演

11:40 ~ 閉会式

会場

上川教育研修センター

※オンラインでの受講も可能です

## お申し込み

お申し込みはこちら



## 講師紹介

昭和62年5月 中川郡池田町立池田小学校教諭  
平成3年4月 勇払郡占冠村占冠中央小学校教諭  
平成5年4月 空知郡南富良野町立金山小学校教諭  
(平成8年度 北海道立教育研究所長期研修員)

平成11年4月 北海道立教育研究所総合学習兼  
生活科教育研究室長

平成13年4月 北海道立教育研究所研究研修主事  
平成14年4月 北海道教育庁根室教育局指導主事  
平成16年4月 北海道教育庁上川教育局指導主事

平成18年4月 北海道教育庁学校教育局義務教育課  
指導主事

平成20年4月 北海道教育庁学校教育局義務教育課主査  
平成23年6月 北海道教育庁後志教育局教育支援課長  
平成25年4月 北海道教育庁学校教育局義務教育課主幹  
(平成26年4月~平成29年3月)

北海道教育大学教職大学院招聘教授)  
平成28年4月 北海道立教育研究所企画・研修部長

令和元年6月 北海道教育庁学校教育局義務教育課長

令和2年4月 北海道教育庁後志教育局長

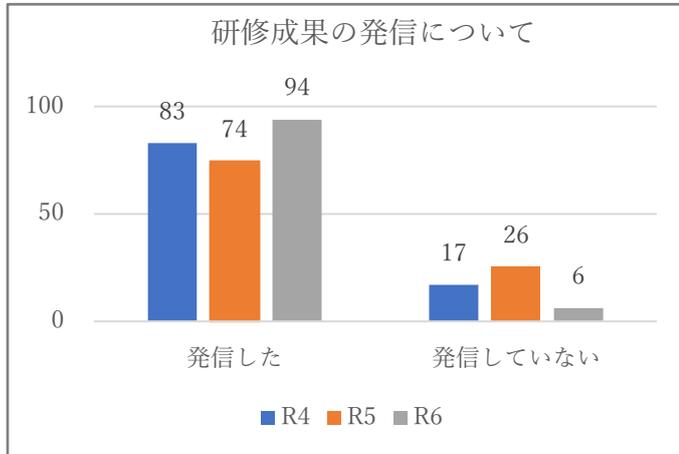
令和3年4月 北海道教育庁学校教育局指導担当局長兼  
新型コロナウイルス感染症対策局長

令和5年4月 北海道立教育研究所長

# 令和6年度 受講後調査の集計結果 ～ご協力ありがとうございました～

当研修センターでは、研修講座の受講後2～3か月を目処に御回答いただく「受講後調査」を実施しました。お忙しい中にもかかわらずご協力をいただきまして、ありがとうございました。令和6年度の結果をまとめましたので、お知らせいたします。

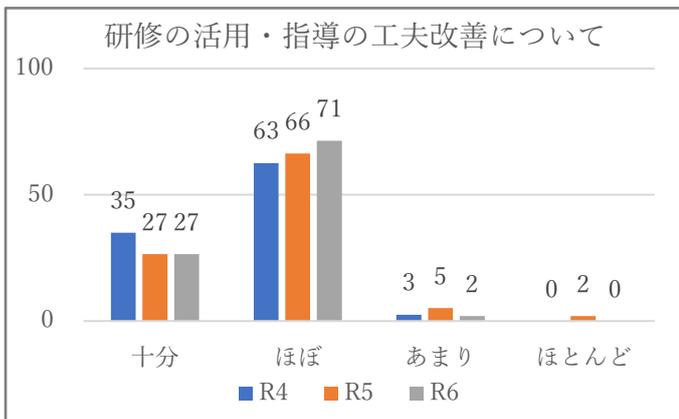
## 設問1 研修終了後、児童生徒や同僚教職員、他の学校の教職員等に研修成果を発信することができましたか。



研修の成果について、例年にも増して多くの方に活用していただいております。

受講者はもとより、広く教育現場に生かされるよう、より多くの方に発信していただけますような講座運営を目指し、工夫改善してまいります。

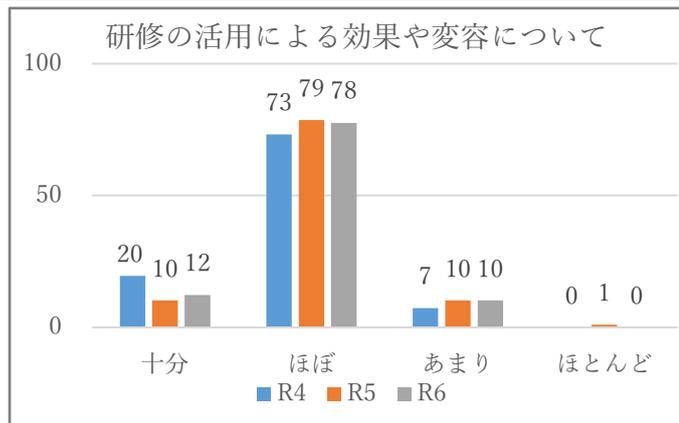
## 設問2 研修終了後、自校や校外研修会等で、研修内容を活用し、自己の指導内容や方法の工夫改善ができましたか。



98%の受講者から自己の指導内容や方法の工夫改善ができたという肯定的な回答をいただきました。

今後もさらに多くの皆様が実践に生かすことができる教育現場の実態に即した講座内容となるよう努めてまいります。

## 設問3 研修内容を広げたり活用したりした結果、児童生徒や対象の教職員に効果や変容がみられましたか。



90%の受講者から効果や変容がみられたという回答をいただきました。反面、効果が感じられないという回答も少数ながら見られ、講座の2次的な影響への工夫の必要性も感じられる結果となりました。受講アンケートを生かしながら、より実践的な研修内容になるよう努めてまいります。

講座の成果を推し測り、より多くの受講される皆様の御意見を反映するため、当研修センターのWebサイトや2次元コードから簡単にアクセスできるようにしております。今年度も2～3か月を目処にご回答ください。

※令和7年度からは、受講の2か月後にアンケートのお願いのメールを発信します。ご協力お願いいたします。

「受講後調査」  
2次元コード



## 心に残る授業 その91

旭川市教育委員会  
教育指導課主査  
森 走 平



体育を苦手とする児童生徒は、学習内容の中心を技能の習得と捉えがちで「運動が得意ではないから体育は苦手だ」と感じる傾向があるのではないのでしょうか。

学習指導要領解説(体育編・保健体育編)では、運動やスポーツには「すること」だけでなく、「みること」「支えること」「知ること」など、多様な関わり方があることが示されています。

私の心に残っている授業は、教師の計画的・意図的な指導の下、「運動は得意ではなくても、運動の行い方をよく理解している児童」が活躍した小学校6年生体育科の授業です。

本授業では、前時までに学習したマット運動の基本的な技を安定して行ったり、それらを組み合わせたりする活動が設定されていました。

児童たちは、自己の課題解決や技の組み合わせを工夫したり、撮影した動画を確認しアドバイスを申し合ったりするなど、主体的に学習に

取り組んでおり、活気に満ちた歓声が体育館に響いていました。

すると、先生が笛を鳴らし、あるグループに児童全員の注目を集めました。私は、技を上手にできる児童が演技するのだろうと予想しましたが、実際は違いました。

先生は、不安な表情を浮かべているAさんの隣に立ち「AさんがBさんに技のポイントやコツを分かりやすく説明してくれたおかげで、Bさんは今日、初めて開脚前転ができるようになりました！ Aさん、ありがとう!!」と称賛したのです。

授業の終末に「今まで体育が苦手だったけど、Bさんが開脚前転できて嬉しかったし、先生に褒められて体育がちょっと好きになりました」と振り返りを入力しているAさんの明るい表情が印象的でした。

この授業を通して、教師の役割は、多様な関わり方を価値付けることであり、たとえ運動が得意ではなくても、体育の授業で活躍できる場面を意図的に設定することで、児童生徒の体育に対する自己肯定感が高まり、意欲の向上につながるものであると実感しました。

# 出前授業をご活用ください

教科指導をはじめ、生徒指導・特別支援教育・今日的な教育課題・ICT活用・各種実技指導など、各学校の校内研修や教育研究団体の様々なニーズに合わせて、選りすぐりの講師を派遣しています。

今年度の1次受付と2次受付は終了していますが、予定している開設数までまだ空きがございます。上川教育研修センターのホームページ、もしくは、4ページの2次元コードよりお申し込みください。

## 【講座内容例】

教科等指導(国、算等)	指導計画、評価、言語活動、校内研修にかかわる事項等
ICTの活用	タブレットPC活用、ICT活用、メディアリテラシー等
各種実技指導	器械運動(体育)、木版画(図工)、毛筆(書写)等
特別支援教育	発達障害の理解、個別の支援計画、交流および共同学習等
生徒指導	構成的グループエンカウンター、教育相談、カウンセリング等
今日的な教育課題	学力向上、幼保小連携、小中連携等

# 上川教育研修センター所員紹介

## 新任

**副所長**  
**貞弘 真悟**  
教職員の研修は全てが子供たちの成長につながるものという信念を持ち、センター運営に努めてまいります。よろしくお願いいたします。



**指導員**  
**勝瀬 駿太**  
(旭川市立西神楽中)  
研修講座がより現場のニーズに即したものになるよう精一杯務めます。どうぞよろしくお願いいたします。



**研究事業部長**  
**太田 貴幸**  
(旭川市立東町小)  
理論と実践の往還により、今求められる授業づくりを分かりやすくお伝えします。よろしくお願いいたします。



**研究員**  
**相澤 正一**  
(美瑛町立美瑛東小)  
学び続ける姿勢を大切に、上川管内の教育に尽力します。よろしくお願いいたします。



**研究員**  
**林 走**  
(旭川市立広陵中)  
上川の教育の充実と発展に少しでもお役に立てるよう努めてまいります。よろしくお願いいたします。



## 退任 お世話になりました

- 前指導員  
小林 和博 (旭川市立桜岡中)
- 前研究事業部長  
川村 貴弘 (旭川市立青雲小)
- 前研究員  
片山 泉 (旭川市立愛宕中)
- 前研究員  
因幡 明浩 (旭川市立新富小)

## 所員

**所長**  
石前 聖香



**事務部長**  
北澤 克康



**事務係**  
笹谷 青子



**事務係**  
上光 さゆり



**指導員**  
(愛宕中)  
野尻 佳世



**指導員**  
(愛別中)  
児玉 考弘



**ICT 指導員**  
(緑が丘中)  
久須美 克典



**研究員**  
(北門中)  
荒木 健地



**研究員**  
(朝日小)  
河野 翼



**研究員**  
(神楽岡小)  
林 裕生



**研究員**  
(附属旭川中)  
林 尚輝



発行日 令和七年七月一日  
発行 上川教育研修センター  
〒077-0100 旭川市六条通四丁目  
旭川市六条通四丁目  
Tel. 0166-241-2501  
責任者 石前 聖香